

1 単元名 二度の世界大戦と日本 「第一次世界大戦と日本」(全7時間)

2 単元のねらい

第一次世界大戦前後から戦後の国際協調が進む時期の我が国の動きと世界の動きのあらましを理解するとともに、中国や朝鮮の民族運動の高まりや国際平和への努力、我が国の国民の政治的自覚の高まりに気づくことができる。

日本におけるデモクラシーの高まりを背景にして、様々な立場の人々が自らの生活と権利の向上を目指して立ち上がったことを、本巣郡の小作争議を中心に考えることができる。

3 単元で培いたい学び方

第一次世界大戦や社会主義革命、デモクラシーの風潮など、世界で起きている出来事の影響がすぐに我が国の社会に反映される時代になったことをふまえ、名もなき人々が自らの生活改善に立ち上がっていった事についての自分の思いを適切に表現し、その果たした役割や生き方を理解する学び方。

4 内容のまとめりとごとの評価規準 歴史的分野の内容(5)「近現代の日本と世界」オ

| ア 社会的事象への関心・意欲・態度 | イ 社会的な思考・判断 | ウ 資料活用 の技能・表現 | エ 社会的事象についての知識・理解 |
|---|--|--|---|
| 我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きに対する関心を高め、意欲的に追究し、国際協調の精神を養い国民としての自覚をもとうとする。 | 我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きから課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 | 我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きに関する様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。 | 我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きを理解し、その知識を身に付けている。 |

5 単元の評価規準

| | ア 社会的事象への関心・意欲・態度 | イ 社会的な思考・判断 | ウ 資料活用 の技能・表現 | エ 社会的事象についての知識・理解 |
|-----------------|---|---|---|--|
| 単元の評価規準 | 第一次世界大戦前後の国際情勢のあらましと、この時期の我が国の国民の政治的自覚の高まりに対する関心を高め、意欲的に課題追究している。 | 第一次世界大戦の歴史的な意義や戦後の国際協調の動き、日本における政党政治の発達、社会運動の展開などを通して、第一次世界大戦前後の国際情勢のあらましと我が国の国民の政治的自覚の高まりを多面的・多角的に考察し、公平に判断している。 | 第一次世界大戦前後の国際情勢のあらましと、この時期の我が国の国民の政治的自覚の高まりに関する文献、統計・グラフ、地図、映像などの様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。 | 第一次世界大戦前後の我が国の動きと世界の動きのあらましを理解するとともに、この時期の我が国の国民の政治的自覚の高まりをとらえ、その知識を身に付けている。 |
| 学習活動における具体の評価規準 | 大正時代の出来事を調べることから、単元を貫く課題を考えている。 【第1時 ノートの記述 発言内容】 大正時代の教育や文化の動きから、文化の大衆化のあらましをまとめている。 【第7時 ノートの記述】 | アジアで民族自決が認められなかった理由を、中国・朝鮮・インドの具体的な民族運動を通して考えている。 【第4時 発言内容、ノートの記述】 デモクラシーの高まりの中で、社会運動に立ち上がった人々の思いを、本巣郡の小作争議を具体例に考えている。 【第6時 ノートの記述】 | 第一次世界大戦の今までの戦争との違いを2つ、資料から読み取っている。 【第2時 発言内容】 第一次世界大戦後の欧米諸国の動きを、3つ以上資料から読み取っている。 【第3時 ノートの記述】 | 民本主義という言葉の意味や普通選挙法の内容について、資料を正しく読み取り、理解している。 【第5時 ノートの記述 発言内容】 |

| | | | |
|--|--|-------|--|
| | | 発言内容】 | |
|--|--|-------|--|

| 時 | ねらい | 学習活動 | 評価規準・場面・方法 | 資料及び指導・援助 |
|--------------|---|--|---|---|
| 1 大正時代 | 大正時代のあらましをつかむためには、第一次世界大戦や普通選挙運動などの様々な社会運動が始まった理由を追究することが大切だとわかり、単元を貫く課題を設定することができる。 | 1 前の単元を振り返り、本時の学習課題を設定する。 ・国の仕組みを整え、二度の外国との戦争に勝利した日本は、幕末の不平等条約を改正することに成功した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">大正時代はどんな時代だったのだろう。</div> 2 年表や教科書の資料からどんな時代だったのかを考え、交流する。 ・世界を巻き込んだ戦争が起きた時代。 ・デモクラシーというものが広まった時代。 ・色々な争い、事件が起きた時代。 3 現時点での疑問や調べてみたいことを交流して貫く課題を設定する。 「世界大戦は、どんな影響を日本や他の国に与えたのだろう」 4 本時の学習について考えたことをまとめる。 | アー 大正時代の出来事を調べることから、単元を貫く課題を考えている。 場面 学習活動3 方法 ノートの読み述 発言内容 | 「第一次世界大戦と日本」 (資料集の年表) 米騒動の資料 (魚津の写真) 援助(活動3) 発言内容で、何人もの生徒が取り上げた語句などをとくに、貫く課題をつくり上げていくように助言する。 |
| | | 明治時代の日本は、列強に負けつつも諸改革を推し進め、国際的に認められていった時代だった。この大正時代は、世界の動きを見ると「世界大戦」「ロシア革命」「運動」が起きている。日本では社会運動が始まったり、普通選挙法ができたという、人々の力が高まった時代のような。人々はどうやって力を高めていったのだろう。 | | |
| 2 第一次世界大戦 | 第一次世界大戦の原因をつかむためには、戦争の参加国や対立関係を教科書本文や地図から丹念に読み取ることが大切だとわかり、戦争の原因をまとめることができる。合わせてロシアで世界最初の社会主義国が成立した原因も読み取ることができる。 | 1 前時を振り返り、本時の学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">第一次世界大戦はどんな戦争だったのだろう。</div> 2 教科書に出てくる国をノートに書き出し、2つのグループに分ける。 ・ドイツを中心とする、同盟国。 ・イギリスを中心とする、連合国。 3 開戦の原因となったキーワード、今までの戦争との違いについて考え、発言する。 ・キーワードは「民族の対立」 ・大きな違いは「総力戦」と「新兵器」 ・総力戦に耐えられずに、ロシアで世界初めての社会主義の革命が起こった。 4 本時の学習について考えたことをまとめる。 | ウー 第一次世界大戦の今までの戦争との違いを2つ、資料から読み取っている。 場面 学習活動3 方法 発言内容 | 第一次世界大戦中のヨーロッパ(戦線(教)) 兵器工場(教) 女性(教) 戦車(教) 演説するレーニン(教) 援助(活動3) 日露戦争など過去の戦争の様子を振り返らせて大きな相違点を見つけさせる。 |
| | | バルカン半島では、列強の利害と民族や宗教の対立がからまって、いつ戦争が起きてもおかしくない状況だった。そしてオーストリア皇太子の暗殺事件がきっかけとなって世界大戦が起きてしまった。国力を全て使い、新兵器が使用され、今までと比べものにならない犠牲を生みだしてしまった。ロシアで労働者や兵士による革命が起きたけど、他の国や地域にも広まっていきそうだ。 | | |
| 3 国際協調 | 大戦後の世界の様子を理解するためには、ベルサイユ条約やウィルソンの提案を読み取ることが大切だとわかり、読み取る | 1 前時を振り返り、本時の学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">第一次大戦後、世界はどんな方向に動き出したのだろう。</div> 2 第一次世界大戦後の世界の動きを教科書や資料集から調べて、発表する。 | ウー 第一次世界大戦後の歴史諸 | 第一次世界大戦後のヨーロッパ(教) 新渡戸稲造(教) |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 時代 | <p>ことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敗れたドイツは、巨額の賠償金を支払うことになった。 ・国際協約を目指して国際連盟がつくられ、日本も参加した。 ・ヨーロッパでは独立を認められた国ができた。 ・アメリカ、ヨーロッパでは労働者の権利や女性の参政権が認められていった。 <p>3 本時の学習について考えたことをまとめる。</p> | <p>国の動きを、3つ以上資料から読み取っている。</p> <p>場面 学習活動2 方法 ノートの記述</p> | <p>女性参政権運動の活劇家 (教)</p> <p>援助(活動2) 大戦の原因がどうやって解消されていたかに注目して資料を読み取らせる。</p> |
| <p>第一次世界大戦後、二度と世界戦争を起こさないように国際連盟が結成された。そしてお互いの話し合っ問題を決する「国際協約」と「民族自決」がキーワードとなった。ヨーロッパでは新しい国が独立したり、女性も参政権を認められたり、いし動きが表れてきた。アジアやアフリカの植民地でも民族自決が認められたのだろうか。</p> | | | |

| 時 | ねらい | 学習活動 | 評価規準・場面・方法 | 資料及び指導・援助 |
|--|--|---|---|---|
| 4 アジアの民族運動 | <p>第一次世界大戦後も列強の帝国主義は変わらなかったことを理解するためには、アジアでは民族自決の動きが認められなかった理由を考えるとわかり、アジアの民族運動について考えることができる。</p> | <p>1 前時を振り返り、本時の学習課題を設定する。</p> <p>第一次大戦後のアジアの動きを調べ、ヨーロッパの様子と比べよう。</p> <p>2 第一次世界大戦後のアジアの様子を教科書や資料集から調べて、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大戦中日本は中国に二十一か条の要求をした。 ・中国では反帝国主義の五・四運動が起こった。 ・朝鮮では三一独立運動が起こった。 ・インドではガンディーによる完全な自治を求める運動が起きた。 <p>3 ヨーロッパの戦後の様子と比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独立運動が認められなかった。 ・アジアの植民地は列強にとってを大事であり、手放すことは考えていなかったようだ。 ・この考えが続くと、再び戦争の原因になるのではなか。 <p>4 本時の学習について考えたことをまとめる。</p> | <p>イー</p> <p>アジアで民族自決が認められなかった理由を、中国・朝鮮・インドの具体的な動きを通して考えている。</p> <p>場面 学習活動3 方法 発言内容</p> | <p>二十一か条の要求(教)</p> <p>二十一か条の要求に関連する中国権益(教)</p> <p>柳真順(教)</p> <p>糸車を回すガンディー(資料集)</p> <p>援助(活動2) アジアでも民族自決や民主主義の動きがあったかどうかについて考えるように助言する。</p> |
| <p>アジアでもロシア革命や民族自決の動きには影響されて、独立運動が高まった。しかし独立は認められなかった。アジアは列強の利益を生み出す地域なのだろう。それでもアジアの人々は独立を求めて運動を続けたようだ。日本国内ではどんな動きがあったのだろうか。</p> | | | | |
| 5 大正デモクラシー | <p>日本での民主主義の高まりを理解するためには、国民の政治参加の方法がどのように変わっていったのかわかることが大切だとわかり、護憲運動や政党政治・普通選挙の実現の経緯を理解することができる。</p> | <p>1 前時を振り返り、本時の学習課題を設定する。</p> <p>世界大戦後の民主主義の高まりは、日本ではどのような形であらわれたのだろうか。</p> <p>2 憲法草案運動や吉野作造の主張から、大正デモクラシーの思潮を読みとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議事を無視したことで内閣が辞めてしまっている。こんなことは初めてではない。 ・民主主義という言葉は、この時代に合っている。 <p>3 原敬内閣の特徴、普通選挙の実現までの道のりを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政党が中心になった内閣がつけられるようになった。普通選挙制で有権者も4倍も増えた。 <p>4 本時の学習について考えたことをまとめる。</p> | <p>エー</p> <p>民主主義という言葉の意味や普通選挙法の内容について、資料を正しく読み取り理解している。</p> <p>場面 学習活動2 方法 ノートの記述 発言内容</p> | <p>議事堂を取り巻く民衆(教)</p> <p>民主主義(教)</p> <p>有権者数の増加(教)</p> <p>投票所にあふれる民衆(教)</p> <p>援助(活動2) 難解な語句の意味について補足説明し、事実がつかめるようにする。</p> |
| <p>日本でも、民主主義が唱えられ、自由主義の雰囲気が高まった。吉野作造の民主主義に多くの国民が賛成し、普通選挙運動が全国的な民衆運動となった。その結果、普通選挙法が成立して、25</p> | | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | オ以上の男子全てに選挙権が与えられた。でも女性やその他の問題について、どんな動きがあったのだろう。 | | |
| 6 | 大正時代に様々な社会運動が活発になったことを理解するためには、背後にデモクラシーの高まりが存在し、人々の生活向上の意識につながったことに気づくことが大切だとわかり、本業地域の小作争議を通して人々の生活向上への思いを考えることができる。 | <p>1 前時を振り返り、本時の学習課題を設定する。</p> <p>『ABCカシ』の高まりの中で、本業の人々が「小作争議」にどんな思いで参加していたのか考えよう。</p> <p>2 教科書本文に「運動」と書かれている語句を全てプリントに書き出す。 ・民衆運動、社会運動、労働運動、農民運動、部落解放運動、アイヌ解放運動、婦人運動</p> <p>3 大正期の農民運動=小作争議について、本業地域の様子から考える。 ・岐阜県は全国的に見て小作争議が多く、その中でも本業郡は小作争議が多発する地域だった。 ・小作料を減らしたり、米を余分に取られるしくみを廃止して欲しいと要求している。 ・地主に要求を認めさせることもあった。 ・単に「生活が苦しい」の理由もあるが、「小作にも、人間としてよりよい生活をする権利がある」という理由が表れてきた。</p> <p>4 本時の学習について考えたことをまとめる。</p> | <p>イー</p> <p>小作争議が大正時代のどのような思潮の元に展開されていったのかを考えている。</p> <p>場面 学習活動3、授業後 方法 ノートの記述 発言内容</p> | <p>水平社宣言 (教) 争議に関わった労働者数 (教) 農民組合の大会宣言 (教) 本業郡の小作争議について 横田英夫草稿 農民組合ポスター (自作資料)</p> <p>援助 (活動3) 具体的な要求項目や運動の背景にある考え方に注目して考えるように助言する。</p> |
| | | 日本中で様々な社会運動が発生した中で、本業では小作争議が多かった。「生活が苦しい」というのが一番の理由だったけど、それだけでなく、「人間らしく生きる権利」を求めるようになったことがわかった。おそらく他の運動にもあてはまることだと思う。全国水平社や婦人運動については、今度自分で調べてみようと思う。 | | |

| 時 | ねらい | 学 習 活 動 | 評価規準・場面・方法 | 資料及び指導・援助 |
|---|--|--|--|--|
| 7 | 世界を巻き込んだ戦争、その後の国際協調のムードや、日本人の生活が変化してきたこともふまえ、大正時代の日本を大きくとらえて単元のまとめをすることができる。 | <p>1 前時を振り返り、本時の学習課題を設定する。</p> <p>文化の動きも取り入れて、大正時代の日本についてまとめよう。</p> <p>2 関東大震災では、阪神大震災とは違う悲しい出来事があった。それは何か調べる。 ・多くの朝鮮人、社会主義者らが殺された。</p> <p>3 大正期の市民生活を表す資料から、時代の変化を探る。 ・中学校、高等学校、大学、専門学校が増えた。 ・ラジオ放送が始まり、新聞が普及した。 ・雑誌や映画、スポーツなど多くの人が楽しめる文化が広まった。 ・バスガールなど働く女性が増えていった。</p> <p>文化の面でも多くの民衆が関わるようになってきた。</p> <p>4 本単元の学習についての思いをまとめる。</p> | <p>アの</p> <p>大正時代の日本のあらましを、国際情勢や文化の発達を背景にしてまとめている。</p> <p>場面 授業後 方法 ノートの記述</p> | <p>関東大震災後の東京 東京浅草の映画街 (教) 芥川竜之介</p> <p>ラジオ放送のアナウンサー パスガール (以上、教)</p> <p>援助 (活動3) 本時までの学習を振り返り、貫く課題についての考えをまとめるようにする。</p> |
| | | 大正時代は、第一次世界大戦という悲惨な出来事から始まった。世界大戦後のデモクラシーの高まりの流れが日本にも伝わって、小作・労働者・女性・被差別部落など、様々な立場の人々が「よりよく生きる」ための運動を始めた時代だった。様々な立場から立ち上がった人々の願いが、もっと実現していく世の中になっていくといふのだが、見通しはどうだろう。 | | |